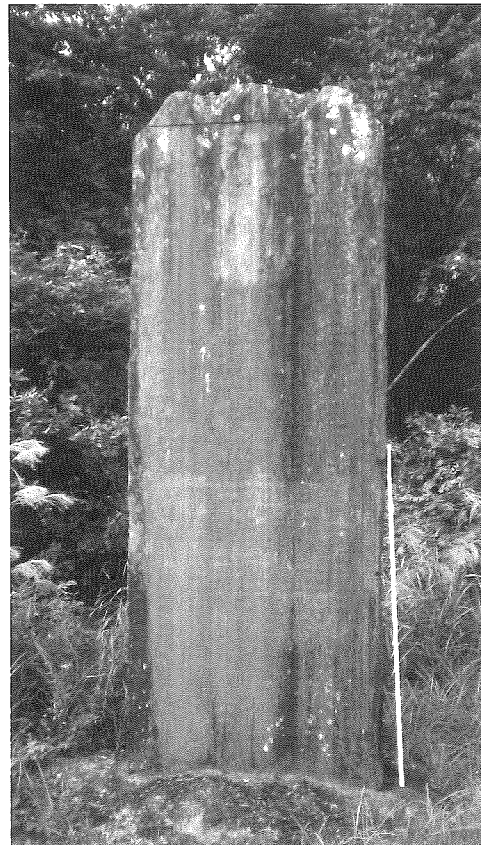
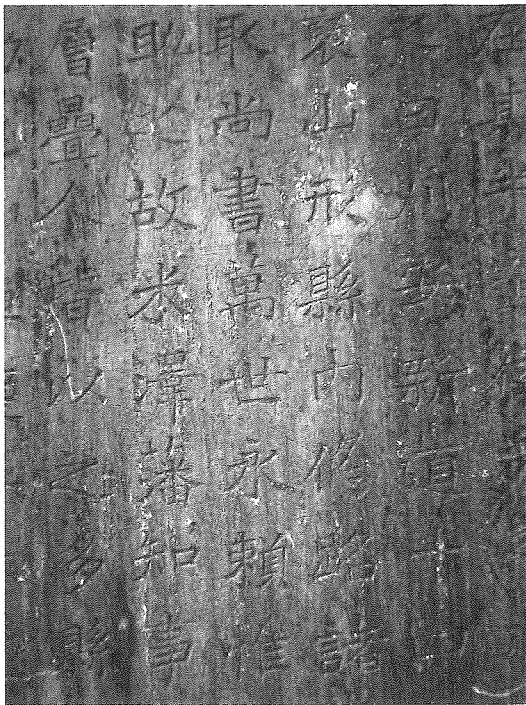
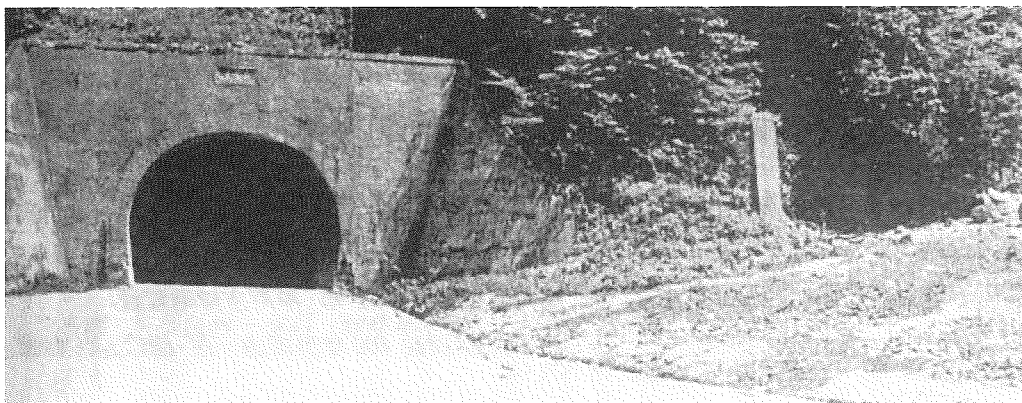


### 「萬世」の地名となった 文字が刻まれている



明治15年1月建立された栗子隧道碑記



左から昭和のトンネル口、栗子隧道碑記、明治の隧道口、栗子神社碑

# 萬世の大路

第7号  
平成21年10月25日発行

発行者  
歴史の道万世大路・万歳の松保存会  
会長 田畑 寛

事務局  
万世コミュニティセンター  
☎0238-28-5381

## 「栗子隧道碑記」の碑

明治十五年一月栗子隧道西口に建立。昭和四十一年五月二十九日栗子ハイウエー開通後まもなく国道維持出張所に移転。(高さ三百六十四cm、幅百七十二cm、厚さ三十三cm石材)

明治天皇が東京に帰られてから、県内の道路及び栗子隧道を含む米沢以南の道路改良がよくできていると賞賛された。続いてこの新道を「萬世大路」と名付けられた。これは尚書(経書)の「萬世永頼惟汝功」の語から取ったことや、この山岳を切り開いて交通の便を良くして産業や文化の交流を進めなければならぬこと、工事の苦勞など詳しく千七百十四字にも及ぶ漢文で刻まれている碑である。

改めて碑の前に立って見ると大きさに驚かされる。当時積雪の中何十人もの人たちで引き揚げ建立したと思われる。明治の隧道の入口にあり、昭和のトンネルと三点セットの写真が歴史を刻んでいる。